

会 議 議 事 録

1	会議名	令和6年度長岡市教育委員会事務評価委員会
2	開催日時	令和6年7月10日（水）午後2時00分から午後4時00分まで
3	開催場所	さいわいプラザ 4階 教育委員会会議室
4	出席者名	<p>（委員）</p> <p>山田委員長 渡辺副委員長 武石委員</p> <p>（説明のために出席した職員）</p> <p>金澤教育長 竹内教育部長 星野子ども未来部長 金垣教育部参事 桜井教育総務課長 吉田教育施設課長 長谷川学務課長補佐 石川部活動地域移行担当課長 佐々木学校教育課主幹兼管理指導主事 稲毛学校教育課主幹兼管理指導主事 梅沢中央図書館長 深澤子ども・子育て課長 大久保子ども家庭センター所長 江田保育課長</p> <p>（事務局）</p> <p>中村教育総務課長補佐 今井教育総務課庶務係長 池田教育総務課主査</p>
5	欠席者名	玉木学校教育課主幹兼管理指導主事
6	議題	<p>(1) 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について</p> <p>ア 教育委員会会議の開催及び審議状況等について</p> <p>イ 教育委員会における事務の点検・評価について</p> <p>(2) その他</p>
7	審議結果の概要	資料に基づき、令和5年度に教育委員会が実施した各種事業等について、担当課長が委員に説明し、委員からの質問に回答した。

8 審議の内容	
事務局	1 開会
教育長	2 教育長あいさつ
事務局	3 事務局職員紹介
委員長	4 議事
	(1) 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について
	ア 教育委員会会議の開催及び審議状況等について
	・資料に基づき事務局が説明
	・質疑応答
委員	(質問) 教育委員会定例会は公開されているか。
事務局	(回答) 一部非公開としているが、原則公開している。
委員	(質問) 傍聴者はいるか。
事務局	(回答) 報道の方がほとんどで、市民の方はほとんどいない。
委員	(質問) 傍聴者がいる場合はその方に関係する議案があったからだと思われる。まず、市の教育委員会が何をしているか興味を持ってもらうために、市のホームページに教育委員会の議事録が詳細に掲載されているので、それらを見てももらう仕掛けが必要と思われる。また、市民にとっては、教育委員会定例会を傍聴してもいいのかわからないのではないか。
事務局	(回答) 関心をもってもらえるように、積極的に周知・啓発を実施していきたい。
委員長	(質問) 臨時会と協議会の違いは何か。
事務局	(回答) 臨時会は、会議規則に定められている長岡市教育委員会の会議の一つである。協議会は、教育行政の運営における懸念事項・重要事項について調査・研究等を必要とする場合に、教育委員と協議を行うために開かれる非公式な会議である。
委員長	(質問) 施設訪問と定例会の日程がほぼ同日になっているのは、定例会の前後に施設訪問をしているということでしょうか。
事務局	(回答) そのとおりである。

	<p>イ 教育委員会における事務の点検・評価について</p> <p>■ 4つの重点項目の取組状況及び今後の展望</p> <p>【不登校支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
委員	<p>(質問) 不登校児童生徒が増えている現状で、取組を強化しているということが伝わった。子どもたちへの支援だけではなく、保護者への支援の取組は具体的にあるか。</p>
事務局	<p>(回答) 子ども・青少年相談センターで、まずは保護者の話を聞いたり、支援をしたりしている。相談を定期的実施し、必要に応じて関係機関等につないでいる。学校においては、現状、担任との面談が主であり、子どもが学校に行きやすい環境を作っていく、保護者の不安を減らしていくというアプローチをとっている。</p>
委員	<p>(意見) 今後は、各学校に通級指導教室を増やしていける施策があると良いと思う。</p>
委員	<p>(意見) 不登校や不登校気味の子どもの保護者や、発達障害のある子どもの保護者が、悩みを話し合ったり、情報交換をしたりする会を定期的実施している団体があるので、そのような情報を提供するだけでも保護者としては助かると思うので、そういうところも探ってみると良い。</p>
委員長	<p>(質問) 義務教育の段階では、不登校の児童生徒に対して手厚いアプローチがなされているが、義務教育を卒業して以降も繋がりを持たない子どもやその保護者に対する支援の方法も今後考えていく必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>(回答) 子ども・青少年相談センターでは、20歳未満の子どもまでを対象としているため、中学校卒業後も相談を受け付けている。20歳以降の子どもについては関係課と情報共有をしていきたい。</p>
委員	<p>(意見) 福祉課のひきこもり相談支援室が4月からできたので、20歳以降の子どもについてはそちらに繋がるように情報提供をしたほうが良い。</p>
教育長	<p>(回答) 子ども・青少年相談センターで20歳までの相談を受けるようになってから、中学校を卒業した子どもと保護者が継続して相談を行うケース増えている。ひきこもり支援についても、担当部局との連携</p>

	<p>はつつがなく行いたい。</p>
委員長	<p>【学校と地域の協働による部活動の体制整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
事務局	<p>(質問) 休日部活動の地域移行は令和7年の夏と聞いていたが、秋になった経緯はあるのか。</p> <p>(回答) 8月下旬のコンクールや体育祭が終わる9月以降のほうが適しているという意見があり修正した。</p>
委員長	<p>(質問) 中学校教員の方で地域クラブでの指導をする方や、競技団体の中で協力できる方がどれぐらいいるか、見通しが持てていないが、これから見通しなどが出てくるということによいか。</p>
事務局	<p>(回答) 今年の5月に市内の中学校教員に地域クラブ指導に関する意向アンケートを実施し、9割の教員から回答があったが、85%は希望しないという回答であった。現状では、競技によっては専門的にその競技を実施していた教員が少なく、指導者の専門性とその競技の部員数とで乖離が見られる。今後、長岡市、長岡市教育委員会、長岡市スポーツ協会、長岡市芸術文化振興財団と連携協定を結び、長岡市独自で人材バンクの設置を行い、競技団体だけではなく、企業や大学、高専、専門学校にも協力を求めていく。</p>
委員	<p>(質問) 文化系の部活動については方向性は固まってきたのか。</p>
事務局	<p>(回答) 長岡市芸術文化振興財団の協力を得ながらになるが、休日の部活動については活動している文化部は吹奏楽部と合唱部、美術部だけだったので、それらを対象とした地域移行を進めている。吹奏楽部は楽器の運搬等の様々な課題があるので、一部合同で行う学校があるが、基本的には現在の学校を単位とした地域移行をしたいと考えている。また、吹奏楽部がない学校については、どこで実施できるかを保護者に示している。</p>
	<p>【発達特性のある子どもと保護者への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
委員	<p>(質問) 県のスクールカウンセラーと子どもの発達支援プロジェクトチームとの連携はどのようになっているか。</p>

事務局	<p>(回答) 県のスクールカウンセラーと、プロジェクトチームや学校教育課との連携はとっていない。しかし、カウンセラーやカウンセリングを受けた学校を通じて、子ども・青少年相談センターに相談がくる場合がある。</p>
委員長	<p>(意見) 保育園や幼稚園から小学校に上がるときは、特に発達障害のある子どもへの対応は丁寧と感じるが、その後、その子どもがどう成長していくかを見届けることが必要だと感じる。保育園等から小学校に上がるときは、「すこやかファイル」でスムーズに引き継ぎが行われるが、小学校から中学校に上がる時や、総合支援学校に通学するときに使用されないことが多いと感じる。切れ目のない支援を行うために、その子どもたちの成長と並行し、見守っていくことが必要だと感じる。</p>
事務局	<p>(回答) 中学校で「すこやかファイル」を知らない教員がいるという実態ははっきりしたので、発達ガイドブック、特別支援教育ガイドブックを改訂したときに、管理職に説明・周知し、理解を深め、連携が強化できるようにする。</p> <p>【E d u - D i v e r 構想の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
委員	<p>(意見) タブレットを立ち上げると、「こめぷら」のプラットフォームが出てくるが、教師がすぐバツテンで閉じましょう、という感じになっていたりするので、講習会の中で一言添えていただけたらと思う。</p>
委員	<p>(意見) E d u - D i v e r 構想が始まってから、子どもたちのタブレットの活用が進んで技術面では能力が伸びている。著作権などの情報モラル教育や講演会を実施していると思うが、今後は先生も含めてモラルの向上を図っていくことが大切である。</p>
事務局	<p>(回答) 「こめぷら」の使い方は学校によって差があるので、活用方法について学校に周知していきたい。また、モラルについては取り組んできているが、技能の向上に伴い、必要な部分が変わってくると思うので、どのような形で実施していくべきかを検討していきたい。</p>

<p>委員長</p> <p>事務局</p>	<p>■教育委員会の実施した事業の点検・評価について</p> <p>【施策1 郷土愛の醸成による人材の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 <p>(質問) 旧サンライフ長岡のときに研修室を利用していたが、引き続き、市民の方は利用できるのか。</p> <p>(回答) 以前の研修室は、現在は歴史文書館の書庫として使用しているため、旧サンライフ長岡のときのように貸館として利用はできない。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>【施策2 保幼小中連携による一貫した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 <p>なし</p>
<p>委員長</p> <p>事務局</p>	<p>【施策3 オール長岡で子どもを育む教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 <p>(質問) スクール・サポート・スタッフ以外で、心ふれあい相談員の配置状況はどうか。</p> <p>(回答) 令和5年度は、30校に17名を派遣した。問題行動や不登校対策としての心ふれあい相談員の活用の推進を検討する。</p> <p>(質問) プログラミング教育推進事業について、長岡市からPythonの案内があったが、Scratch3.0からPythonに移行するということがよいか。</p> <p>(回答) Pythonはアプリ開発やAI開発等で用いられるプログラミング言語であり、Scratchに比べると難易度が上がるので、ミライエ長岡の事業として、興味をさらに深めたい児童生徒が取り組んでいる。</p> <p>【施策4 子ども・子育て支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答

委員長	(意見) 公立保育園等 ICT 化事業について、コドモンによる登降園の通知のほか、おたよりの配信などが便利だと感じている。また、保護者として冷蔵庫などに貼っておきたい文書は紙でもらえる配慮があるのが良いと感じる。
委員	(質問) 子どもの貧困対策推進事業について、学習塾等の利用に係る経費に対する補助を実施しているが、子どもの数が減っていくが予算は同額を維持していくのか。
事務局	(回答) これまでの実績を踏まえながら予算計上をしていく。
委員長	<p>【施策5 質の高い教育を実現する教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
委員長	(質問) プールの老朽化により、他県では、借りた中学校のプールで事故が起きたが、プールの老朽化について、長岡市の小中学校の現状はどうか。
事務局	(回答) 現在、プールがない学校が小中学校合わせて17校ある。今後も、大規模な改修が生じる際は公営プールや民間のプールを活用してプール授業を行う。
委員長	<p>【6 教育振興基本計画に記載のない施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 なし
委員長	<p>■長岡市教育振興基本計画に掲載した参考指標一覧について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 なし
委員長	<p>その他、全体を通しての意見等はあるか。 なし</p>

委員長 委員	(2) その他 ・事務評価委員の意見提出について 集約した意見の調整については、私と事務局とで調整するという ことでよいか。 異議なし。 5 閉会
(出席委員の署名欄)	
9 会議資料	